

～認知症の経過と利用 できる支援について～

認知症の経過		気づき～疑い	見守りがあれば 日常生活は自立(軽度)	日常生活に 手助け・介護が必要(中等度)	常に介護が必要 (高度)
本人の様子		☐物忘れ ☐同じことをくりかえし聞く ☐片付けが苦手になる ☐探し物が多くなる ☐火の消し忘れや水の出っぱなし などが増える	☐小銭で支払いができない ☐たびたび道に迷う ☐生活リズムが乱れる ☐外出がおっくうになる ☐家電の操作が難しくなる ☐服薬の管理が難しくなる	☐トイレの場所がわからない ☐道に迷って帰ってこれない ☐日にちや季節がわからない ☐服の着方がわからない	☐自分で食事ができない ☐言葉でのコミュニケーションが難 しい ☐身体の動かし方がわからなくなる
心がけること		☐今できることを大切にしましょう。 ☐早めにかかりつけ医に相談したり、地域包括支援センター等の窓口を利用したりしましょう。		☐自分たちで抱え込まず、かかりつけ医や地域包括支援センター、ケアマネジャーなどに相談しましょう。 ☐身近な人（親戚・近所の人など）に状況を伝え、理解者や協力者を作りましょう。	
相談・ 家族支援	認知症や介護の相談がしたい	☐地域包括支援センター ☐居宅介護支援事業所(ケアマネジャー) ☐認知症初期集中支援チーム(P.11)			
	仲間と交流したい	☐認知症家族介護者交流会(ひまわりの会:P.7) ☐認知症カフェ(P.10)			
生活支援 ・ 見守り	地域で見守りを 受けたい	☐高齢者実態把握調査 ☐民生委員 ☐認知症サポーター			
		☐配食サービス・緊急通報システム(P.6) ☐認知症高齢者等あんしん補償事業・みよし安心ネット(P.12) ☐シルバー人材センター(ワンコインサービス) ☐社会福祉協議会(みまもっ手、ふれ愛電話)			
	権利を守りたい	☐日常生活自立支援事業(P.6)			
		☐成年後見制度(成年後見支援センター:裏表紙)			
住まい	安心できる環境で 暮らしたい	☐自宅			
		☐高齢者向け住宅(シルバーハウジング、ケアハウス)			
		☐サービス付き高齢者向け住宅 ☐有料老人ホーム			
		☐認知症高齢者グループホーム ☐介護老人保健施設 ☐特別養護老人ホーム			
社会参加	人と交流したい 元気に過ごしたい	☐生きがい・趣味の活動(グラウンドゴルフ、カラオケ、手芸)			
		☐通いの場			
		☐健康づくり ☐介護予防教室 ☐回想法教室(P.7)			
医 療	診断・治療を受けたい	☐かかりつけ医・認知症専門医・認知症疾患医療センター(P.18、19)			
		☐かかりつけ医・かかりつけ歯科医(P.18、20)			
	自宅で医療を受けたい	☐訪問歯科診療(P.20)・訪問薬剤師(P.21)・訪問看護			
		☐訪問・通所リハビリ			
介 護	介護保険サービスを受けたい	☐総合支援事業(地域包括支援センター)・居宅介護支援(ケアマネジャー)			
		☐ホームヘルプ ☐デイサービス ☐ショートステイ ☐住宅改修 ☐福祉用具貸与 ☐など			